

stories

広報かわねほんちょう

待ちに待ったジャガイモの種芋植え体験

シルバー人材センター会員23人と徳山聖母保育園園児24人は3月13日、水川の畑でジャガイモの種芋植え体験に取り組みました。記事は今月のハイライトに。

2012

5

No.79

県内では、昭和58年の富士宮市以来、29年振りのダブルリコール（町長解職、議会解散）となる住民投票が本町であった。3月18日に投票された結果、共に不成立だった。リコールに至った経緯を改めて検証し、町の混乱を收拾させ、より良い、町民目線の町政運営が求められる。今後の町政の舵取りを町長が語った。

川根本町では「第1次総合計画」がスタートして5年が経過し、前期基本計画期間が終了することから、基本構想の見直しと後期基本計画の策定を進めてきました。このほ

ど、計画案がまとまり、川根本町総合計画審議会澤口会長から答申をいただきました。答申では、計画の趣旨内容を広く町民に周知するとともに十分な理解と協力を得られるように努めること、総合計画の進捗状況を常に把握し、定期的に公表するとともに多くの町民の声が反映できる体制づくりに努めること、国の動向、社会情勢、地域事情等を十分見極めたうえで効果的かつ着実な事業実施に努めること、地域全体が停滞する中、

行政を見る町民の目が厳しさを増しているので町民の期待に応えられるよう真剣に取り組んでいただきたい、また職員が意欲を持って前向きに業務に取り組める体制づくりに努めてほしいとの言葉をいただきました。総合計画審議会員の皆様をはじめ、ワークショップ、子ども会議、パブリックコメントなどご意見やご提言をお寄せいただいた皆様にご心からお礼を申し上げます。この第1次総合計画基本構想の変更および後期基本計画の策定については3月議会でご審議をいただきました。

中長期的展望に立った総合計画の実現に向けて、これから後半の5年に入っていくわけですが、平成24年度一般会計予算は、55億1300万円、前年度と比べ1億3200万円、率にして2・3%の減額となる予算を編成させていただきました。

平成20年度からの国の経済対策に係る地域活性化関連の補正予算による道路など生活環境整備や学校など教育環境整備に始まって、23年度には地方分権時代を迎え、ますま

これからの まちづくり

3月18日に執行された住民投票で

多くの有権者は任期全うを選択

町民との対話の重要性を再認識した

と語る佐藤公敏町長が

今、改めて語る

「これからのまちづくり」



this month
HighLight

1
今月の注目

す重要視される地域コミュニティの強化を図るため、住民による地域づくりへの支援や地域の要望に応えるような住民生活に直結した身近な事業に重点を置いた事業展開を行ってきました。また保健・医療・福祉など住民生活の安全・安心に直接結びつくような施策の充実にも力を入れてきました。

平成24年度は東日本大震災や河川災害等を教訓に従来の住民の生活環境の向上に加え、災害対策に重点を置いた予算を編成しました。

主には、東海地震や集中豪雨等の自然災害への防災対策、健康で明るく過ごすための保健・医療・福祉施策の充実による「安全で安心のまちづくり」、農林業と商工観光業の連携による地域活性化、恵まれた自然や人的資源を活かした施策の展開による「元気で活力に満ちたまちづくり」、地域間交流の促進や地域づくり活動への支援による「住民が夢を持つて明るく前向きに取り組めるまちづくり」の3つを柱としました。

1つ目

の柱としては、
昨年の3・11

「東日本大震災」、台風12号、15号などから得られた教訓をもとに、東海地震や豪雨など自然災害への防災対策や健康で明るく暮らすための保健・医療・福祉施策のさらなる充実を図り、より「安全で安心のまちづくり」を目指します。

災害に強いまちづくりでは、予想される東海地震や豪雨災害など大規模災害に備えて施設整備や予防対策を進め、災害時の被災リスクを少しでも軽減できるように努めます。

主な事業としては、古い基準で建てられた町内12の集会所の耐震補強工事、戸別受信機未設置の1400世帯に防災ラジオの配備、備蓄用倉庫未設置地区への倉庫15棟の設置や防災資器材整備の補助、災害時に避難所となる町内小学校体育館への非常用電源（発電機設置等）の整備、大井川の浸水や土砂災害警戒区域などを示すハザードマップの作成などを進めます。

災害時には孤立が懸念されるところから、急傾斜地等の防護対策を図るとともに町道や林道など道路の整備改修を進めます。また青部バイパスや富士城バイパス、上長尾バイパス、川根寸又峽線など国

道・県道整備など命の道としての道路の早期開通、改良などの要望に努めていかなければなりません。

さらに住民の安心とともに生活の諸便宜の向上を図るため町営バスやスクールバスの運行、外出支援サービス事業など「足の確保」を図ってまいります。また、地域の公共交通機関としての大井川鐵道との連携もさらに強めていく必要があると考えます。

だれもが、安心して暮らせるふるさとづくりを目指すには、乳児から高齢者まで健やかに暮らせる環境の整備を図ることが必要となります。川根本町の子どもたちが、将来に大きな夢を持って、生き生きと輝きながら育つていただくため、子育て支援センターや放課後子ども教室などの運営、私立保育園運営支援、私立幼稚園運営支援、結婚祝い金・出産祝い金支給事業などのほか、各種保健事業や医療費助成など子育て環境の充実を図り、子育てを応援するまちづくりに努めます。

また、高齢化が進む中で、健康的な生活を送ることは安全・安心のまちづくりにとつて極めて重要でありますので、

各種疾病に対する予防接種費用の助成や各種健康診断事業の充実にも努めたいと考えます。今後とも医師の確保に努めるとともに、長期的な視点にたつての医療体制の整備・構築を考える時期に来ていると思われまので、「ふじのくにネットワーク」などにより総合病院等と町内診療所が相互に連携を図りながら、住民も安心、医師も安心して取り組める「川根本町の医療体制」を検討していく必要があると考えます。

2つ目

の柱は、農林業と商工観光

業の連携による地域経済の活性化、恵まれた自然環境や人的資源を活かした施策の展開による「元気で活力に満ちたまちづくり」であります。林業や茶業の低迷が続く、担い手の高齢化も顕著になる中で、農林業の振興は町の活性化という面からは勿論、農林業の持つ多面的な機能の発揮・維持のためにも極めて重要であります。

茶業振興対策としては、川根茶のブランド力の維持・強化、安全・安心のお茶づくり、地域の情報発信と販路拡大の

佐藤公敏町長の口から語られる これからの本町の方向性とは

ための支援などを行います。

具体的には、茶の改植、省力化のための機械導入、緑茶加工施設整備、作業道整備など茶業生産基盤整備への補助と流通面からお茶の販路拡大策を目指す「市場開発調査推進事業」を進めます。

また、近年耕作放棄地が増加傾向にありますので、農業生産基盤としての農地の維持、ふるさと景観の維持、国土の保全などという点からも耕作放棄地対策に取り組んでまいります。ユズの植栽などお茶との複合作目の導入等についての支援、調査研究なども進めます。

商工業や観光業の振興も大きな課題であります。商業環境は、島田市ほか近隣都市周辺地域に大型駐車場を有する大型量販店が立地し、道路事情が改善されるに伴って購買力の流出が進み、建設業関係は公共事業費の削減や住宅着工件数が大幅に落ち込み、製造業も空洞化や円高等の影響を受け、観光関連事業も入込み客数の回復が見られないなど、産業界はいずれも厳しい状況にあります。農・林・商・工・観が連携して、6次産業化を目指す中で活性化を

図つていきたいと考えます。

町の活性化は人口の多寡によつて決まります。定住促進策は町としてまず進めなくてはならない施策であります。

これまでに亡くなる人や転出する人の数が多く、新たに転入し、定住する人の数が表面に出にくかった感もあります。が、ここ10年・20年の間に町内に移住された人の数も決して少なくありません。このように川根本町を好きになつて来てくださる人も結構いらつしゃいます。ちやつきり娘として、あるいは緑の協力隊として川根本町での暮らしを体験する人、千年の学校や川根茶塾などで川根本町を知ろうとする人もいらつしゃいます。これらの人々の意見も伺いながら今後本町への定住促進を図ることは大きな意味があると思われまふ。このようなことから、「空き家バンク」の開設や「空き家改修補助制度」のスタートなどにより定住促進を図つていきたいと考えます。

また、交流人口の増加を図るには、川根本町へのアクセスを改良することが大切であり、そのためには道路整備を促進することや大井川鐵道と

本町の展望

- 一、安全で安心のまちづくり
 - 二、元気で活力に満ちたまちづくり
 - 三、夢を持って明るく前向きに取り組めるまちづくり
- 3つの柱から成る、わたしたちの暮らしとは

の連携・協力が必要になります。

富士山静岡空港が既に開港し、4月には新東名が供用開始となり、島田金谷バイパスの4車線化が計画され、金谷駅の改修工事もあるやに聞く中で、島田市は大井川流域における中心的な交流拠点都市を目指すとし、大井川を軸とした地域づくりを重要視し、野守の池をイルミネーション・スポットとし、川根温泉宿泊施設の建設を進めようとしております。島田市への集客力が高まること予測されることから、島田市をはじめとする流域市町との連携を深めながら、島田市から川根筋を経由して奥大井へ誘うための戦略展開が必要となります。

川根筋を単なる通過点としてではなく、「グルメやショッピングなど川根の魅力をまるごと満喫できるようなエリア」、「都市住民とふれあい、交流し、相互理解を深めるようなエリア」として、大井川筋の街道整備を進め、宿泊基地として寸又峡温泉、千頭温泉、接叡峡温泉、もりのくになどの再整備を図っていくことが必要となります。そのために、中長期的な展望に立ちながらも、できることから取り組める行動計画を盛り込んだ観光振興計画の策定を進めます。

昨年、島田市と共催した「S Lフェスタ」についても、本年度も継続して行います。大井川流域の広域連携は、大井川沿線や周辺地域の水源地域

活かしていく

への理解や協力を求める上で、川根本町の元気を再生させるためにも重要なポイントであると考えます。島田市とは、旅行代理店を招いてのファミトリップ等も行いましたが、引き続き今年度も行うとともに、大井川筋の観光振興について連携を深めていきたいと考えます。

(※誘客促進のための現地視察)

3つ目

の柱は、地域間交流の促進

と、住民が取り組む地域づくり活動等への支援によって「夢を持つて明るく前向きに取り組めるまちづくり」を目指します。

まちづくりには、何よりもそれを担う人材の育成が大切であります。学校教育から生涯学習まで、成長の過程でさ



まざまな教育や学習の機会が得られるような環境をつくる必要があります。学校教育の面では近年教育施設や教育資器材の整備はある程度進めてきましたが、児童・生徒数の減少により複式教育を取り入れられている小学校や中学生の部活動などに支障を来たしている例が見られ、現場の先生方や保護者の皆様には心配される向きもあるかと思えます。

川根本町における学校教育のあり方を保護者の皆様や地域の皆様とともに検討する必要があると感じております。生涯学習の面からは、地域で取り組む生涯学習によりコミュニケーション活動やまちづくりなどに成果も現れてきておりますので、今後とも推進していきたいと考えております。

地域間交流の面では、川勝知事からお話のあった中国龍泉市との友好都市推進事業や中学生の海外研修事業など国際的な交流から大井川を軸とした観光振興を目指した連携、水資源や河川環境などを通じての流域連携、海の子・山の子の交流など近隣市町との連携、地域内のさまざまな交流・連携などを通して相互理解を深めるとともに、あらゆる場

面で活躍できる人材を育て、住民が将来に夢を持てるまちづくりを進めていきたいと考えています。

また、本年8月に開催されるロンドンオリンピックには、カヌースプリント競技において大村朱澄選手が出場することになりました。オリンピックというアスリートにとって最高の舞台への出場ということで、大村選手を称揚し、激励するとともに、世界に肩を並べ頑張れる人材を育てるという観点からの支援事業を行います。

川根本町には、山のこと、お茶のこと、その他趣味などいろいろな分野で達人としての技や知恵を持った方もいらっしゃると思いますのでこのような人たちが活躍できる場をつくるためにもマイスター制度を機能させていきたいと考えています。

これからのまちづくりに必要なことを熱く語った町長。まちづくりにはよく「協働」という言葉が使われる。まさに今、町民、議会、町(行政)が一体となって、未来に向かって進んでいかなければならない。

有権者からのメッセージ 重く受け止め、今後の町政運営に



触れ合い

シルバー人材センター会員と徳山聖母保育園園児が協力して農作業

this month
HighLight

今月の注目 **2**

シルバー人材センターが主催する耕作放棄茶園を活用した「ジャガイモの種芋植え作業」は3月13日、水川区で実施。現地には、園児たちとシルバー会員の楽しそうな声が響き土で手を真っ黒にしながら、さわやかな汗を流しました。

一列に並んで、シルバー会員の手ほどきで丁寧に種芋を植える園児たち。6月に迎える収穫が今から楽しみです。

シルバー人材センターが企画 耕作放棄茶園をいも畑に

シルバー人材センターが主催する耕作放棄茶園を活用した「ジャガイモの種芋植え作業」は3月13日、水川地区の畑で実施されました。町の大きな課題となっている耕作放棄茶園の拡大に歯止めをかけるため、町の耕作放棄地対策事業の補助を活用した同センター初の試み。同センター会員23人と徳山聖母保育園の3歳以上の園児24人が参加して共同で作業しました。

午前9時。現地に向くと、シルバー会員たちが既に集合し、畑作業を開始していました。うねを整え、くわを使って大きめの石や茶の木の根っこなどを取り除いています。直前まで放棄茶園だったこの畑は、元々水田だったとのこと。補助金を使って畑に整備し直したと言っても、最終的には人力、それも人海戦術が物を言います。24人が協力し合って「あとはジャガイモの種芋を植えるだけ」の状態にしました。この日、植えたのはマークインと男爵という2種類のジャガイモ。会員たちは「おでんなどの具として最



「適だ」とうれしそうに話しました。

畑を等分に区切り、下の段に男爵、上の段にメークインを植えることになりました。うねにそって30センチ間隔で穴を掘り、あとは種芋を植えるばかりの状態にして、本日のパートナー徳山聖母保育園の園児の到着を待ちます。

午前10時、保育園から徒歩で移動した園児たちが現地に到着し、会員に向かって大きな声であいさつ。会員から作業の概略が説明されたあと、共同作業が始まりました。

会員たちが種芋を園児に手渡し、あらかじめ掘られた穴に植えていくよう指示を出すのと、「僕もやりたい」「こっちにもつと芋をちょうだい」と、園児たちの元気な声が畑に飛び交いました。

約30分にわたって実施された今回の作業で、20アールほどの畑一面に種芋が植えられました。この芋は、6月頃には収穫できるとのこと。参加した会員からは「収穫時期が今から楽しみ。また子どもたちと一緒にやれたらいいですね」といった声が聞かれました。



また収穫の時に会おうね。上手に植えました。



園児の元気なあいさつ。



会員が下準備を。



写真手前はメークイン。

安全安心な野菜作りで放棄茶園解消を



シルバー人材センター
奥野恵美子さん

会員は全て無償ボランティア。毎回こういった作業に多くの会員が参加してくれるのでありがたいです。今回は園児たちも参加してくれたので交流という効果もあったのでは。収穫量は二の次。安全・安心な野菜作りを第一に取り組んでいきたいと思っています。

農作業を通して人と人がつながる効果

耕作放棄地の解消という目的に加えて、子どもたちの農業体験の場の提供、異世代間の交流、会員同士の交流促進といったさまざまな効果も生み出していったこの作業。企画した同センター事務局の奥野恵美子さん（梅高）は「今回ジャガイモを植えた隣の畑（約20アール）も同事業を活用して借りたもの。サトイモや自然薯を植えるよう作業を進めています。耕作放棄茶園の解消とともに、将来的には有機栽培に移行し、安心安全な川根の野菜作りを目指します」と話していました。



林家正蔵師匠の巧みな話術と軽快な落語が満席の来場者を魅了

明るく 元気に 一生懸命

笑いあふれる「ふれあい講演会」

this month
HighLight

今月の注目 **3**



笑い声というのは、
聞いているこちらまでうれしい、
楽しい気分になれる、
幸せを感じることもできるものなんです。



「お客様を迎える際、座布団の置き方一つにも決まりがあるんですよ。皆さんご存じですか」。

観客席に向けた正蔵師匠の問いかけに、ちらほらと声が上がります。

「そう、決まりとは座布団の『縫い目』のことなんです。座布団には一方だけ縫い目がない方向があるんですね。それを正面に向けて置くようにするんです。お迎えしたお客様とご縁が切れませんように。今後お仲良くおつきあいでくださいねという願いが込められていますね」。

来場者からは、一様に感心したかのようなため息が漏れていました。

一番大切なこと

中部電力・川根本町共催による平成23年度のふれあい講演会は3月17日、落語家として人気の林家正蔵師匠を文化会館に迎えて開かれました。開演約1時間前に会場入りした正蔵師匠は、早速舞台での確認作業に移ります。落語の高座の位置や客席後方まで声が届くかなど、文化会館職員とともに入念にチェックしました。当日はあいにくの雨でしたが、12時半を過ぎると同館ロビーには、ぞくぞくと来場者が訪れ、受付で案内パンフレットを受け取って

ホールへと吸い込まれていきました。どの顔からも、今日どんな話が聞けるのか楽しみにしている雰囲気が出ました。

午後1時半の開始時刻を迎えると、満席となった会場からは拍手が沸き起こり、舞台袖から正蔵師匠が登場。大きな歓声に出迎えられました。

正蔵師匠は、自身がこれまで実施してきた講演活動や日常生活から生まれたエピソードなどを交えながら、約1時間にわたり講演しました。

「私が父からいただいた落語の極意に『明るく、元気に、一生懸命』という言葉があります。それを聞いた当時は『なんだそんなことか』』と思ったのですが、最近になって『ああ、お客様に楽しんでいただく落語家にとって、一番大切なことなんだな』と思えるようになってきました。人間誰しも、たまに暗くなったり、手を抜いたり、魔が差す時があります。そんな時にはこ

の父の言葉を思い出し、もう一度気持ちを引き締めるんです。落語家としての自分を支える大切な言葉なんです」。

講演後には、はな平さんと正蔵師匠による落語が2本かけられ、会場内は終始楽しそうな笑い声に包まれていました。

正蔵師匠は講演の最後、
「笑い声というのは、聞いているこちらまでうれしい、楽しい気分になれる、幸せを感じることもできるものですよ」。

日頃の何気ない一言一言によって、人の心は温かくなれます。落語というものは、それを大勢の人に伝えることができる、人から人へとつなげることができると、コミュニケーションなんです。これからも皆さんと一緒に、常に笑顔で、前を向いて、進んでいきたいですね」と講演を締めくくりました。

客席からは、この日一番大きな拍手が正蔵師匠に送られました。



1 熱く語りかける正蔵師匠
2 お弟子さんの林家はな平さんの落語
3 会場を後にする観客は笑顔であふれていた

人権問題は人権擁護委員に相談を

人権擁護委員制度をご存知ですか

人権とは「全ての人が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」または「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」のこと。誰にとっても身近で大切なもの、日常の思いやりの心によって守られるものです。

しかし現実の社会では、保護者からの虐待によって子どもが命が奪われたり、パートナーからの暴力によって心や身体に深い傷を受けることがあります。高齢だから、障害があるから、外国人だからという理由で差別を受けることもあります。人権は誰もが関係する権利。もう一度、考えてみませんか「人権」のこと。

制度の変革

昭和23年に、まず政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌24年6月1日に人権擁護委員法が施行されました。これにより、地域住民の中にあつて国民の基本的な人権を擁護する機

関である「人権擁護委員制度」が誕生しました。

人権問題は、人権擁護委員にご相談ください。

町内には4人の委員

本町には、川根本町長から推薦され、法務大臣が委嘱した次の人権擁護委員がいます。

- 澤村泰子(徳山)
- 下原 泰(久野脇)
- 澤本文男(田代)
- 芹澤通江(小長井)

全国一斉特設人権相談所

6月1日(金)に、『人権擁護委員の日』にちなんで「全国一斉特設人権相談所」を開設します。相談には町内の人権擁護委員が対応します。相談は無料です。秘密は堅く守られますので、気軽に相談ください。

時間 午前10時～午後3時
場所 ①山村開発センター2階
小会議室

②文化会館2階
第2和室

この「ふるさと納税」制度は、住民税の一部(原則として1割程度)を、応援したい市町村に対して「寄付」という形で財政的な支援ができるという制度です。

生まれ育ち、生活の経験のある市町村はもちろん、実際に訪れたことのない市町村であっても、応援したいと思う市町村ならどこにでも支援ができます。

ふるさと納税として寄付をされた場合、現在住んでいる市町村に納めている住民税のおよそ1割を上限として、住民税と所得税が減税されるというものです。

町民の皆様におかれましても、ご親戚やお知り合いの方で、川根本町にふるさと納税をお勧めできる方がおりましたら、ぜひご案内いただき、川根本町を応援していただきますようよろしくお願いいたします。

なお、納税の方法など、詳しいことにつきましては、町のホームページをご覧ください。

たくさんのご厚意が寄せられています

ふるさと川根本町への応援を形に

役場企画課までお問い合わせください。

次の方々は、平成23年度におきまして、川根本町に対してふるさと納税により「寄付いただきました皆様方です。

(お名前は、ご了承いただいた方のみ、順不同で紹介をさせていただきます。金額の公表は、控えさせていただきます。)

- ・名古屋市 増田 道直 様
- ・東京都 中村アツコ 様
- ・焼津市 森 賢一 様
- ・名古屋市 渡辺 哲也 様
- ・掛川市 石田 吉央 様
- ・焼津市 片瀬 忠良 様
- ・島田市 伊藤千佳子 様
- ・藤枝市 竹内 俊明 様
- ・藤枝市 諸田 芳紀 様

「ふるさと納税」へのご寄付ありがとうございます。

気を付けて！子どもと高齢者の事故多し

地域の交通事故ゼロを目指して

全国一斉に実施された「春の全国交通安全運動」に併せて、本町でも町内11カ所で、運動初日に当たる4月6日(金)午前7時から、早朝街頭指導及び広報を実施しました。

交通安全協会島田地区支部川根本町分会の主催で駐在所警察官、交通指導員、町内事業所や地区の皆さんが参加しました。

この時期は、新入学児童を中心とした子どもたちを交通事故から守るとともに、増加する高齢者の交通事故を抑止するため、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本として取り組みました。

神田優一分会長(寺馬)は「高齢者が関係する事故が多発している。よく確認すれば避けられるケースが多いので、注意しながら運転することを心掛け、事故が起きない地域にしていきたい。」と話していました。

静岡県警察本部によると、平成23年度の人身交通事故発生状況は、前年度に続き増加してい



るものの、死者数は3年連続して減少し、昭和28年以降の最小記録を更新したとのこと。

特に高齢者の皆さんには「目立つ服装と、夜間は反射材の着装を」と呼びかけています。

本町においても事故のない安全で安心なまちづくりを目指しましょう。

本町は平成21年度に「川根本町健やかウォーキングカード」を制作しました。どなたでも個々の目標歩数・距離・時間などを地区の保健委員に申告してカードの交付を受けることができます。地域の健康づくりリーダーである保健委員にとっても地域住民の皆さんと身近に触れ合うことができる新たな活動の一つとなっています。

一枚のカードには60日分の歩行記録ができ、3枚(180日分)のカードがいつぱいになった人を「健やかウォーキング実践者」として紹介します(掲載の同意が得られた人のみ)。

平成23年1月号で紹介した、桑野山の柚本金一さんは、健やかウォーキングカード記録3枚達成者第1号です。その後、町内の保健委員から、続々と実践者の報告が届いています。その数は、達成者36人、内2回目の達成者は6人。

朝夕に、家族や仲間と一緒にウォーキングしている人を多く見かけます。

日常のストレスからくる体調不良も改善

健康のため歩いていきますか？

ウォーキングのいいところは、健康増進のほか、ストレス解消、寝たぎりの予防、肥満解消などの効果も期待できます。せっかくの川根本町のいい空気を吸いに歩いてみましょう。想像もしないようなひらめきや発見に出会えるかも。

まだ「健やかウォーキングカード」の交付を受けていない人は、地区の保健委員または生活健康課健康室・住民生活室まで申し出てください。

地区	実践者	目標歩数・時間 (一日当たり)	180日間合計 歩数・時間	保健委員
田野口	小川二三男	1時間30分	262時間50分	中村和江
小長井	池下加市	50分	155時間55分	松下君江
久保尾	水口富佐江	13,000歩	2,724,187歩	水口富佐江
久保尾	松永久枝	6,000歩	1,694,964歩	水口富佐江
久保尾	松本貞子	5,000歩	893,079歩	水口富佐江

元気になれるプレゼントを

南部小児童がアルミ缶回収で地域福祉活動

毎年、中川根南部小学校では環境教育の一環として、アルミ缶回収を実施。児童の各家庭や地域の人に呼びかけ、月に一度、5・6年生が中心になって活動してきました。集めたアルミ缶で貯めたお金を地域の福祉施設で役立ててもらおうと計画し毎年プレゼントしています。今年も、下長尾の「デイサービスかわね」を訪問し、お年寄りが歌を歌って元気が出るようにと、カラオケセットを贈呈しました。



デイサービスかわねでプレゼントを手渡す児童。

藤枝MYFCを応援して

同チーム監督らが佐藤町長を表敬訪問

サッカーのクラブチーム藤枝MYFCの小山淳代表と齋藤俊秀監督は3月13日、佐藤町長を表敬訪問しました。地域密着型のチームとして活躍する同チームはJFL（日本フットボールリーグ）に所属し、藤枝市を中心に活動しています。終始和やかな雰囲気です。進んだ会談で佐藤町長は「町内でもサッカーをやる子どもは多い。ぜひ子どもたちの指導役として教室などを開いてもらえたら」と話しました。



ぜひ試合を観戦してくださいと小山代表。

認知症サポーター養成研修は3月16日、川根高等学校体育館で開かれ、生徒135人と学校関係者20人が参加しました。これは認知症高齢者やその家族が、地域で安心して暮らすため、認知症の理解を深め、地域で支えていくための研修です。

研修では、地域包括支援センターの池本保健師から、認知症の症状や支援方法、認知症高齢者を地域で支える意味などを学びました。

参加した生徒からは「認知症のイメージが変わった」「祖父母に冷たく接していた自分が情けなくなった。もっとやさしくしたい」「将来、福祉の仕事に就きたいので勉強になった」などの感想が聞かれました。

地域包括支援センターと本町社会福祉協議会では、この活動を22、23年度と継続して実施。地域住民などへの理解を呼びかけています。

川根高校生徒が認知症学ぶ

包括支援センターと社協が呼びかけ研修会を開催

生徒135人などが認知症の理解を深めました。



Topics

川根本町の まちの話題



見頃を迎えたソメイヨシノや枝垂れ桜を楽しみました。

桜と笑顔が咲いた、健康の輪

春の風物詩、第17回徳山桜まつりを開催

本町徳山の町営サッカー場で「徳山桜まつり」が4月8日に開催され、多くの人出で賑わいました。

商工会徳山支部が主催する各種催しと模擬店で笑顔あふれる中、川根茶手揉み実演や県立川根高等学校茶道部が野点を行うなど、来場者に好評を得ていました。

そんな中で、活力を感じたのがひまわり会(青木美智子代表＝徳山)が披露した「健康表現体操」。健康づくりのため平成13年から活動しており、月2回体操に取り組んでいて、現在は35名の会員がいるとのこと。高齢者だけでなく、足腰に不安を感じるようになったら、誰でも参加できるとのこと、会員からもマッサージに行かなくても良くなったなどの声が聞かれました。

本町の高齢化率は県下で一番高い42%(平成24年4月1日)。健康で元気な高齢者が増えることは歓迎すべきことであり、これからも活力を感じていきたい。



リズム良く、歌に合わせて体を動かしていた皆さん。

この町に起こった
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!?



各コートでは熱戦が繰り広げられました。

接戦の末「ミスト」が2連覇

中電杯川根地区バレーボール大会を開催

第12回中電杯川根地区バレーボール大会は3月4日、B&G海洋センター体育館で開催されました。大会には、この日のために練習を重ねてきた7チーム、73人が参加しました。朝からの雨で冷え込みが厳しい一日でしたが、体育館の中は気合のこもった声が飛び交い、終始熱気に包まれました。決勝戦は「ミスト」と「フェニックス」チームの対戦となり、接戦の末「ミスト」が大会2連覇を飾りました。



特別列車と共に歩み始めた、お二人。未永くお幸せに♡

永遠の愛を「接岨湖」で誓う

奥大井湖上駅で心温まる結婚式を開催

川根本町まちづくり観光協会が企画した、2回目となる結婚式が3月25日に開催されました。めでたく2組目のご夫婦となったのは、関東から応募いただいた小川桂輔さんと瀧口喜子さん。祝福に駆けつけた親族や友人、町民など約50人が見守る中、誓いの鐘を高らかに打ち鳴らしました。お二人のために、記念ヘッドマークを付けた井川線特別列車が運行され、川根本町ならではの心温まる結婚式となりました。

平成24年度から26年度まで(65歳以上の方) 介護保険料改定のお知らせ

平成12年度からスタートした介護保険の保険料については、3年ごとに見直されることとなっており、平成24年度より、今後3年間の介護サービス費等の見込みを踏まえた新たな保険料額に改定しました。

今回の見直しのポイントは次の2つです。

①介護報酬の改定

平成24年度から介護職員の処遇改善の確保を主な目的として報酬の改定が行われ、1・2%引き上げられました。

介護報酬が引き上げられることにより、サービスを提供するために必要な費用も増加します。このため今後必要とされるサービスを賄えるよう保険料を決める必要があります。

②介護サービスの利用増加

本町における65歳以上の人口割合を示す高齢化率は、平成24年4月1日現在で42%と

なっています。この高齢化は、ますます進むと考えられます。

高齢者が増えることだけで介護費用が増えることにはつながりませんが、年齢が高くなるにつれ、介護サービスの利用が必要になる確率も高くなります。本町の介護保険事業費は、年々増え、右肩上がりとなっており、平成21年度と平成23年度を比べた場合、約5%の上昇となっています。

また、今後も増加していく見込みです。

低所得者の負担軽減

低所得者の保険料の軽減を図り、所得に応じた負担を求め、そのため、保険料の所得段階はこれまでどおり9段階とし、介護保険料の基準額(第5段階)を決定しました。

下記フローチャートで介護保険料を決める所得段階が確認できます。また表1で月額額の保険料などが確認できますので、参考にしてください。

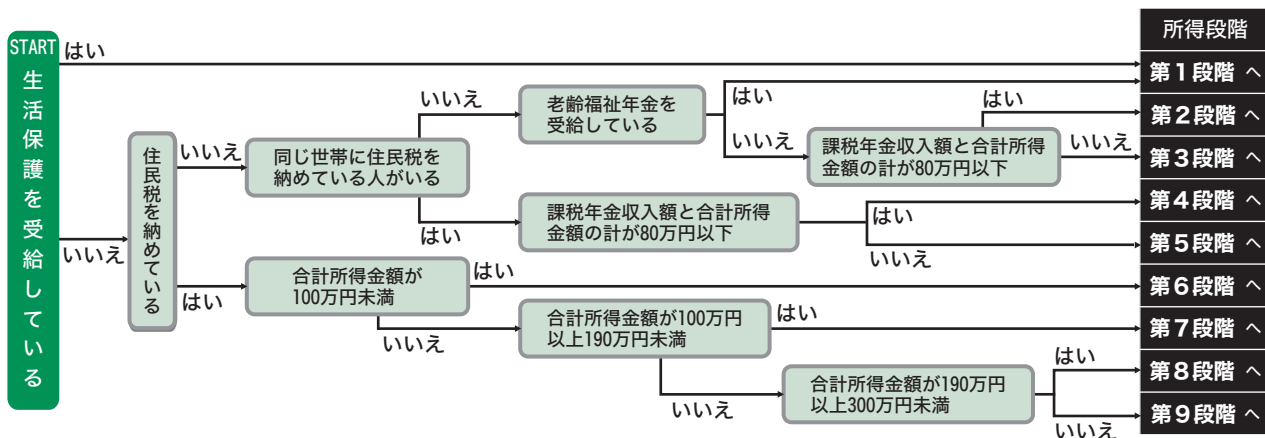


表1 ●新しい保険料(平成24年度から26年度までの3年間)

所得段階	所得段階の説明	計算方法	月額保険料	年額保険料
第1段階	生活保護を受給している人、または世帯全員が住民税非課税で老齢福祉年金を受給している人	基準額 × 0.50	2,180円	26,100円
第2段階	世帯全員が住民税非課税で課税年金収入額と合計所得金額合計が80万円以下の人	基準額 × 0.50	2,180円	26,100円
第3段階	世帯全員が住民税非課税で第2段階以外の人	基準額 × 0.75	3,270円	39,200円
第4段階	本人が住民税非課税、世帯に住民税課税者がいる人で、課税年金収入額と合計所得金額合計が80万円以下の人	基準額 × 0.92	4,011円	48,100円
第5段階(基準)	本人が住民税非課税で世帯に住民税課税者がいる人で第4段階以外の人	基準額	4,360円	52,300円
第6段階	本人が住民税課税で合計所得金額が100万円未満の人	基準額 × 1.25	5,450円	65,400円
第7段階	本人が住民税課税で合計所得金額が100万円以上190万円未満の人	基準額 × 1.37	5,973円	71,600円
第8段階	本人が住民税課税で合計所得金額が190万円以上300万円未満の人	基準額 × 1.50	6,540円	78,400円
第9段階	本人が住民税課税で合計所得金額が300万円以上の人	基準額 × 1.62	7,063円	84,700円

くらしの カレンダー 2012 5月

役場本庁

【代表電話番号】 ☎56-1111

1F 税務課 ☎56-2223
福祉課 ☎56-2224
地域包括支援センター ☎56-2225
生活健康課 ☎56-2222
建設課 ☎56-2227
出納室 ☎56-2228

2F 総務課 ☎56-2220
企画課 ☎56-2221
産業課 ☎56-2226

3F 議会事務局 ☎56-2229

総合支所ほか

【代表電話番号】 ☎59-3111

1F 商工観光課 ☎58-7077
管理室 ☎58-7073
住民生活室 ☎58-7070
福祉介護室 ☎58-7071
産業建設室 ☎58-7076
教育総務課 ☎58-2555
生涯学習課 ☎58-7080

文化会館 ☎59-3106
本川根B&G海洋センター ☎59-3332
山村開発センター ☎56-2231

各種相談・お知らせ

行政相談

5月16日 ☎ 9:00~11:30 生活改善センター
【問】総務課 ☎(56)2220

社会福祉協議会「よろず行政相談」

5月16日 ☎ 9:00~11:30 生活改善センター

社会福祉協議会「よろず相談」

5月9日 ☎ 9:00~11:30 文化会館

社会福祉協議会「法律相談」

5月23日 ☎ 10:00~15:00 福祉センター
【問】社協本川根事務所 ☎(59)2315 中川根事務所 ☎(56)1872

精神保健福祉総合相談（精神保健、断酒など）

5月23日 ☎ 藤枝市中部健康福祉センター 13:15受付(断酒会)
※要予約 中部健康福祉センター-障害福祉課 ☎054(644)9279

日	月	火	水	木	金	土
		1 B&G: 休館 文化会館: 休館	2 B&G: 夜休館 やまびこ号: F	3 憲法記念日 坂井医院(島田市) ☎0547-45-2069 B&G: 夜休館	4 みどりの日 上長尾診療所 ☎0547-56-1800 B & G: 夜休館	5 こどもの日 織田医院(島田市) ☎0547-45-3042 B & G: 夜休館
6 林医院(島田市) ☎0547-53-2352 B & G: 夜休館	7 やまびこ号: A B&G: 休館 文化会館: 休館	8	9 定例乳幼児相談 やまびこ号: B	10 あそびの教室	11 定例健康相談 やまびこ号: C	12 B&G: 夜休館
13 森本外科医院(島田市) ☎0547-46-1181 B&G: 夜休館 文化会館: 休館	14 やまびこ号: D B&G: 休館 文化会館: 休館	15 ポリオ予防接種	16 ことばの相談(予約制) 小児科医健康相談(予約制) やまびこ号: E	17	18 定例健康相談 地区巡回健康相談 竹の子会 やまびこ号: F	19 B&G: 夜休館
20 鈴木内科医院 ☎0547-58-3100 B&G: 休館	21 ふれあいママ教室 やまびこ号: A B&G: 休館 文化会館: 休館	22 ポリオ予防接種	23 定例乳幼児相談 おじさんキッチン やまびこ号: B	24 あそびの教室	25 定例健康相談 地区巡回健康相談 やまびこ号: C	26 B&G: 夜休館
27 すぎもと耳鼻咽喉科 クリニック(島田市) ☎0547-47-3387 B&G: 夜休館	28 B&G: 休館 文化会館: 休館 やまびこ号: D	29	30 2歳、2歳6カ月児 歯科検診 やまびこ号: F	31 志太榛原地域救急医療センター(内科・小児科) 5月診療 診療時間 月曜~木曜日 午後7時30分~10時 金曜~日曜日 午後7時30分~翌日午前7時 ※ただし5月4日☎、11日☎、18日☎、25日☎の午後10時 から翌日午前7時は小児科のみ。 ☎054(644)0099		

健康カレンダーなどは予告なく変更する場合があります。確認してお出かけください。健康カレンダーについては生活健康課 ☎(56)2222

休日当番医 社協榛原郡医師会HP <http://www.haibara-med.or.jp/> 子育て支援施設 ☎(57)2231 休館日: 日、月、祝日

やまびこ号のコース

【問】文化会館 ☎(59)3106

	地名集会所	西地名	塩郷	下泉駅	下泉原	農協茶工場	南部小学校	高郷住宅	
Aコース	着 9:15 発 9:35	9:40 10:00	10:10 10:25	10:30 10:45	10:50 11:05	11:15 11:35	13:15 13:35	13:45 14:00	
Bコース	着 9:20 発 9:40	尾呂久保 10:00 田野口駅 10:20	上長尾集会所 10:30 10:50	八中集会所 11:10 11:30	中央小 13:05 13:25	高郷NTT 13:30 13:40	三共生コン 13:45 13:55		
Cコース	着 9:15 発 9:30	瀬平集会所 9:40 三津間集会所 10:00	久野脇集会所 10:10 10:30	平谷 10:40 10:50	下長尾集会所 10:55 11:05	梅高 11:15 11:35	原山 13:30 13:45	久保尾 13:55 14:15	向井上 14:40 向井 14:45 15:00
Dコース	着 9:15 発 9:35	水川 10:00 田代 10:30	上長集会所 10:35 10:55	総合支所 11:05 11:20	町文化会館 11:25 11:40	本川根小 13:10 13:30	徳山防災センター 14:00 14:20	正島 14:25 14:40	
Eコース	着 9:30 発 9:50	桑野山 10:30 10:50	寸又峽上駐車場 10:55 寸又峽公民館 11:15	やまびこ資料館 13:00 13:20	奥泉集会所 13:40 14:00	小井平 14:25 14:45			
Fコース	着 9:15 発 9:30	藤川西平 9:35 藤川保育園 9:55	藤川区事務所 10:00 10:15	崎平集会所 10:30 10:50	青部集会所 10:55 11:15	第一小 13:05 13:20	文澤 13:50 14:00	吉町河内 14:10 14:20	小竹 14:30 14:40



本庁 1階

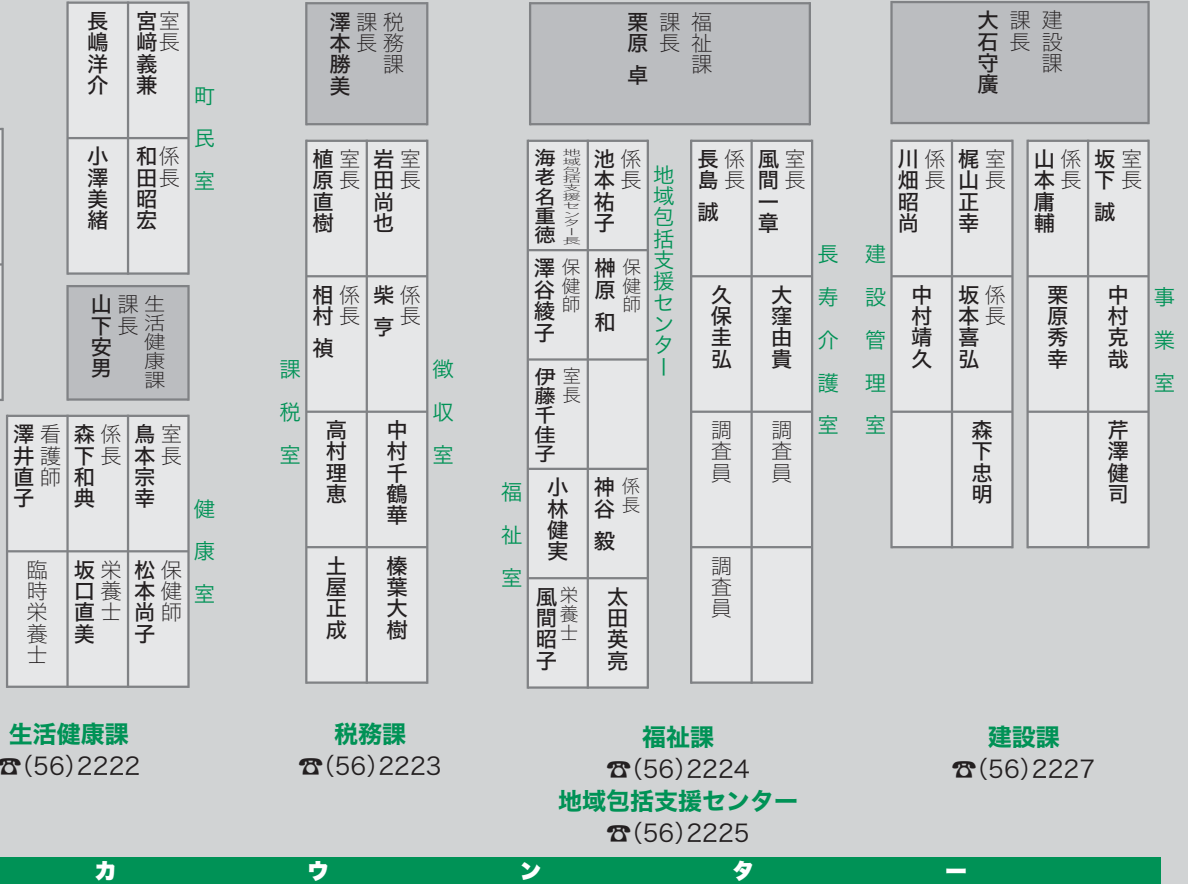
入口

出納室

☎(56)2228

大村泰子 係長	大嶋雄一郎
渡邊清 会計管理者	

カウンタ



本庁 3階

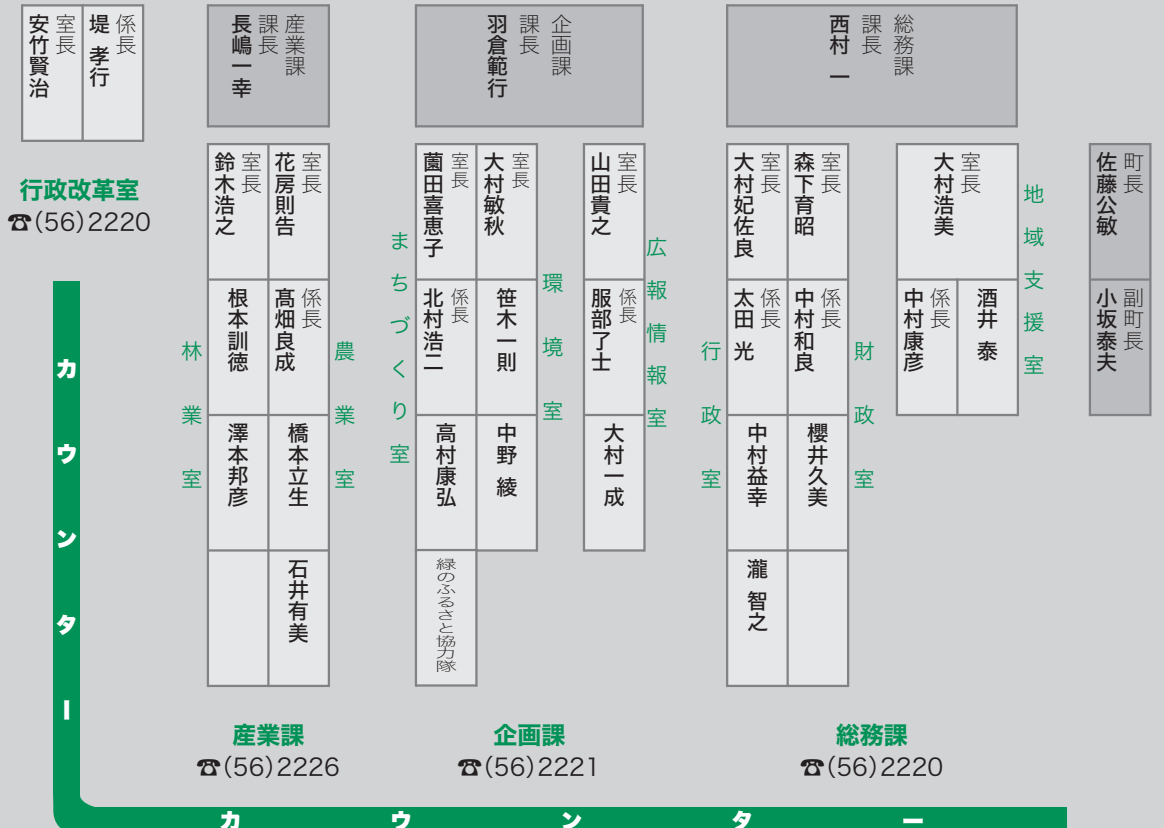
局長
前田修児
係長
宮崎悦子

議会事務局

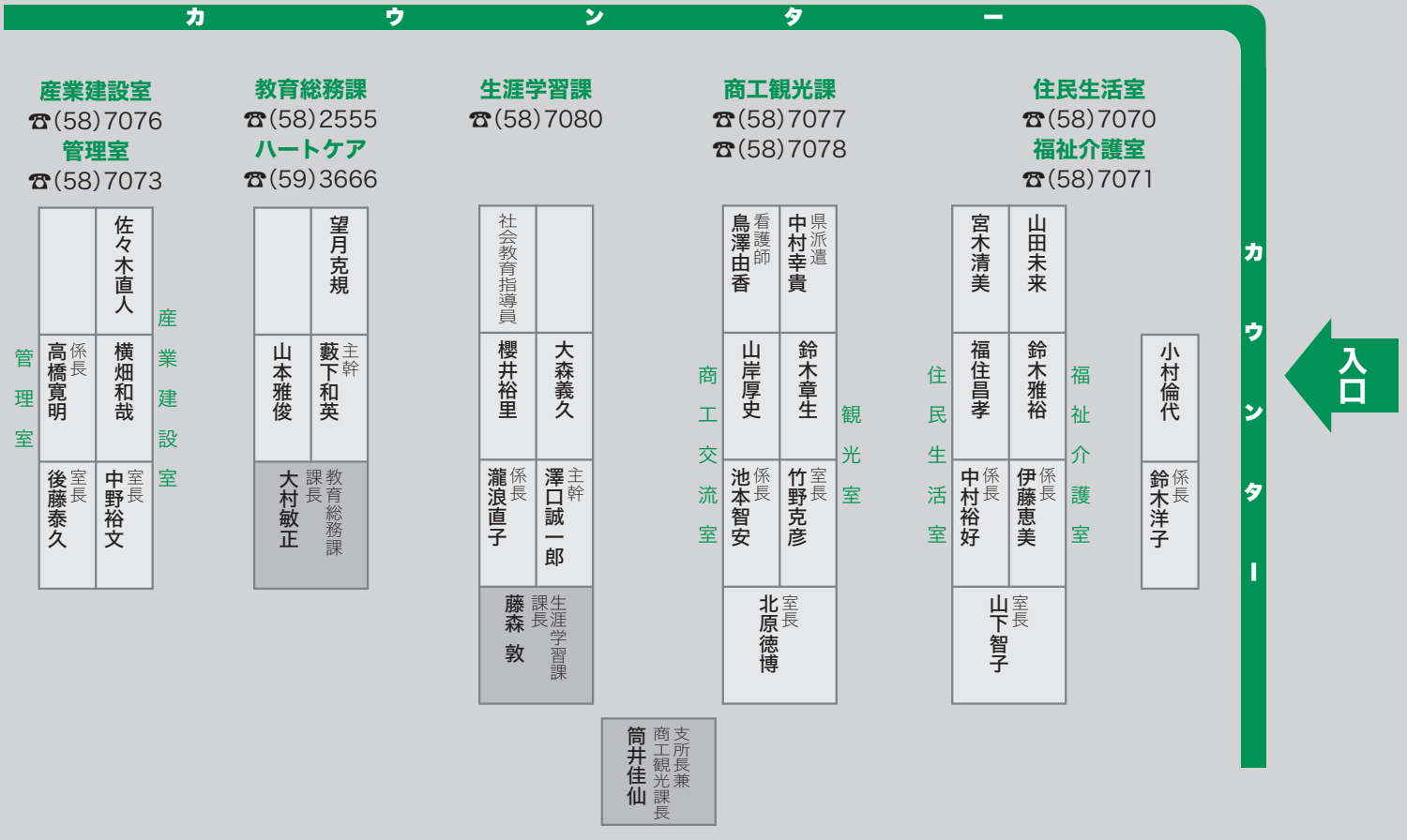
☎(56)2229

カウンタ

本庁 2階



総合支所 1階



平成24年度役場職員配置をお知らせします

平成24年度の役場職員の異動・配置が発表となりましたのでお知らせします。来庁時やお問い合わせの際にご活用ください。この配置図は総務課作成の職員座席表（平成24年4月1日現在）に基づき作成しています。なお、役職については係長以上と専門職などに付しています。

役場本庁 〒428-0313 榛原郡川根本町上長尾627 総合支所 〒428-0411 榛原郡川根本町千頭1183-1

本庁代表 ☎(56)1111 FAX(56)1117またはFAX(56)2235 総合支所代表 ☎(59)3111 FAX(59)3116またはFAX(59)4025

【問】総務課 ☎(56)2220

- 生活健康課町民室
業務員：榊原吉衛、山田和豊、村松正勝
- 静岡県人事交流派遣 小笠原 聡
- 文化会館 ☎(59)3106
係長：小長谷常夫、八木洋一郎
- 本川根B&G海洋センター ☎(59)3332
主幹：平松敏浩、係長：大城正幸、中村 慎
- 奥大井音戯の郷 ☎(58)2021
係長：向島裕人、鈴木裕弥
- 学校給食共同調理場 ☎(58)7575
所長：野崎郁徳、高村武広、長岡弓子、生田由美子
- 農林業センター ☎(56)0506
場長：小平勝彦、大石辰善、鈴木将実
- 本川根中学校 ☎(59)2057 高嶋 章
- 中川根中学校 ☎(56)0013 芹澤美代子
- 本川根小学校 ☎(59)2026 長嶋洋子
- 中川根第一小学校 ☎(57)2123 太田容子
- 中央小学校 ☎(56)0032 森下峯子
- 中川根南部小学校 ☎(56)0044 仁木順子
- 川根本町社会福祉協議会派遣 山本銀男、山本真奈美
- 桜保育園 ☎(59)2201
園長：濱谷初江、中村妙子、鹿末ひろ江、和田智保、大石利絵子、太田好美
- 三ツ星保育園 ☎(56)0043
園長：上野直子、駒井宗子、小澤いつ子、中田泰子、遠藤美也子、北村佳奈子、長嶋佐織、青島佳代子、太田みさ子
- 子育て支援施設 ☎(57)2231 芹澤静恵
- いやしの里診療所 ☎(57)2102

地域で取り組む生涯学習特集号を発行

教育委員会では、平成23年度「地域で取り組む生涯学習特集号」を発行しました。昨年1年間、各地区では「地域の魅力を生かして、誇り・活気・個性溢れるふるさとづくり」をテーマに、さまざまな事業を展開してきました。その様がつぶさに見てとれる広報紙となっています。ぜひご覧ください。

24年度も、積極的に生涯学習事業を推進します。地域ぐるみで生涯学習事業へご参加ください。



趣味や特技を生かした生涯学習講座の講師募集

本年度も、町民講師による生涯学習講座を開講します。ご自分の趣味や特技を生かし講師になってみませんか。受講生（町民の皆さん）と一緒に楽しく学びましょう。応募資格、申込方法などは、新聞折込のチラシでご確認ください。

募集講座 趣味・実用・スポーツ

例：パソコン、手編み、手作り小物、絵手紙、俳画、水彩画、年賀状、ペン習字、ハイキング、写真、陶芸、楽器、お菓子づくり、軽スポーツ、卓球、体操、ウォーキングなど



今月の予定

3日木 新緑カヌーツアーリング

19日土～20日日 海の子・山の子交流教室（山の体験）

今月の文化会館ロビー展示

写真展（川根本町の銘木ほか）中村猪三夫さん（藤川）
 平成23年度 地域で取り組む生涯学習の様子

今月の町民ギャラリー展示

写真展（富士山ほか）森下英夫さん（桑野山）



!!あっ危ない、後に電信柱!!

後の子供、障害物には、安全効力絶大のバックモニターカメラ取り付け御相談、見積もりは、フロント寺西まで

川根自動車株式会社

川根本町上長尾869-2 ☎0547 (56) 0150

ふるさと発見団の団員を募集します(小学4・5・6年生対象)

参加して良かったという声がたくさん届いています
 小学校4、5、6年生を対象に、本年度も「ふるさと発見団」を開催します。地域の人たちと一緒に、ふるさとの自然に触れたり、歴史を学んだりする活動を通して、ふるさとの良さを実感します。また、学校の枠を超えて活動することで、今以上に友達の輪を広げることもつながります。



活動内容などの詳細は、学校で配布する募集チラシをご確認ください。参加希望者は、学校または教育委員会にお申し込みください。また、子どもたちと一緒に活動してくれる地域の大人も募集します。興味のある方は、ぜひご連絡ください。



むつみ学級・すこやか大学

参加者を募集します！
 むつみ学級（60歳以上の女性対象）と、すこやか大学（70歳以上の町民対象）の、第一回学習会の内容が決まりましたので、お知らせします。

- ・むつみ学級第1回学習内容
 「屋外レク&昼食会」
 太極拳やレクリエーション、へっついまんまの昼食を楽しむ予定です。

- ・すこやか大学第1回学習内容
 「梅の収穫と木工体験」

旬の梅の収穫・木工のどちらか体験してみたい方に参加していただく予定です。

詳細については、地区回覧、町ホームページをご覧ください。

放課後子ども教室

協力者を募集します！
 町内4つの小学校では、毎週水曜日の放課後に、「放課後子ども教室」を計画しています。子どもたちと地域の大人が、一緒になってさまざまな体験や遊びを実施する取り組みです。教育委員会では、子どもたちと一緒に活動してくれる人を募集しています。お願いしたい役割は①安全管理員(安全に配慮し、一緒に活動する人、指導する人・有償)②ボランティア(活動を手伝ってくれる人・無償)③下校の見まもり(無償)です。興味のある人はご連絡ください。



てくれる人・無償)③下校の見まもり(無償)です。興味のある人はご連絡ください。

5月の
お買い得
情報

オチアイ「クランクカルチ・MC10」

旧型式クランクカルチ・1台限定！(5月末日まで) ¥183,000

※除草剤サンフーロン：ラウンドアップより3割以上安くて効果は同じ！0.5L/2L/5L/10L

※農機具の購入・修理・改造など、お気軽に御相談下さい。地域のお店だからこそ、丁寧に、解りやすく、迅速に対応いたします！

前田機材

川根本町上長尾795-1
 I P 電話 ☎050-3363-2252
 ☎56-0006 FAX56-0009

申込方法 5月7日(日)午前8時30分から電話受付開始、締め切りは6月1日(金)正午まで。先着順となりますのでお申し込みはお早めに。

【1～3申・問】 県立焼津青少年の家
〒425-0041 焼津市石津2259-408
☎054 (624) 4675

ふじようまつりご案内

県立藤枝特別支援学校

藤枝特別支援学校では恒例の、学校祭「ふじようまつり」を開催します。ぜひご来場ください。

日時 6月3日(日)

午前9時30分～午後2時10分

場所 藤枝特別支援学校

内容 太鼓演奏、みこし練り歩き、遊びのコーナー、作業作品販売、近隣作業所による即売会、吹奏楽コンサートなど

※ご来場の際には、公共交通機関をご利用ください。

【問】 藤枝特別支援学校地域連携課
☎054 (636) 1891

軽自動車税の納期限が変わります

役場 税務課

平成24年4月1日現在、町内で軽自動車を所有している方にお知らせです。

これまでの軽自動車税の納期限は、4月末となっていました。平成24年度から「5月末」に変更しました。軽自動車をお持ちでない方で、納税通知書が届いた場合は、お問い合わせください。

【問】 役場 税務課
☎ (56) 2223

認知症の悩み ご相談ください

県認知症コールセンター

静岡県認知症コールセンターでは、認知症の介護経験のある相談員が親身になって相談をお受けしています。

これまでに県内各地域から、認知症への対応、介護の悩み、将来への不安、その他、様々な相談が寄せられ、話をしてこころの負担が軽くなったという声も多くありました。認知症のことで困ったり、悩んでいる方は、ひとりで悩まず、ご相談ください。

なお、相談料は無料ですが、電話代は相談者の御負担となります。

※「認知症の人と家族の会静岡県支部」の会員が相談員です。

専用電話 0545 (64) 9042

相談日時 週3日(月・木・土) 午前10時から午後3時まで。(ただし、祝日及び年末年始を除く)

【問】 県長寿政策課介護予防班
☎054 (221) 2336

悩んでないで あざれあ電話「男性相談」

男女共同参画課

ストレス社会に生きる男性のまわりには、いろいろな悩みがあります。一人で悩むよりご相談ください。

自分の生き方、家庭の問題、仕事や健康の悩みなど、あなた自身が解決の糸口を見出すために専門の男性相談員が相談にのります。

専用電話 054 (272) 7880

相談日時 5月19日(土)、6月2日(土)、6月16日(土) 各日午後1時から5時まで

【問】 県男女共同参画課
☎054 (221) 2824

受けてみよう救命講習 島田市消防本部からご案内

島田市消防本部

消防本部では緊急の時のために「救命講習会」を実施しています。皆さんの受講をお待ちしています。受講無料。

申込 希望するコースの受付期限までに直接消防署またはファクスで。

締切日 各講習日の10日前で締切。受付は先着順となります。

●救急一般講習 心肺蘇生法を中心とした2時間の講習

回	講習日	開始終了	場所	定員	募集開始
1	6月2日(日)	9:00 11:00	川根南分遣所	20人	5月1日
2	6月16日(土)	9:00 11:00	金谷消防署	20人	5月1日
3	7月6日(金)	18:00 20:00	島田消防署	50人	6月1日
4	7月14日(土)	9:00 11:00	川根北分遣所	15人	6月1日

●普通救命講習 I 一般講習の内容を厚くした3時間講習

回	講習日	開始終了	場所	定員	募集開始
1	6月3日(日)	9:00 12:00	島田消防署	30人	5月1日
2	6月23日(土)	9:00 12:00	川根北分遣所	15人	5月1日
3	7月8日(日)	9:00 12:00	金谷消防署	20人	6月1日

●普通救命講習 II AEDが設置してある事業所など対象

回	講習日	開始終了	場所	定員	募集開始
1	6月24日(日)	13:00 17:00	金谷消防署	20人	5月1日
2	7月21日(土)	13:00 17:00	川根南分遣所	20人	6月1日

普通救命講習 I、II は修了証を交付。応急手当普及員講習は島田消防署で9月、川根北で11月に実施予定です。

【問】 島田消防署救急救助係
☎ (37) 0119 FAX (36) 1436

E mail shimadashobo@eagle.ocn.ne.jp

今月の納期

固定資産税 第1期分
軽自動車税 第1期分
水道使用料 5月分

納期限は5月31日です。口座振替の方は5月31日に引き落とされます。残高の確認をお願いします。税務課 ☎ (56) 2223

川根本町の人口

平成24年4月1日現在

世帯数	3,018 世帯 (-12) 【39】	出生	4人 【0】
総人口	8,180 人 (-61) 【68】	死亡	19人 【0】
男性	4,005 人 (-34) 【18】	転入	15人 【0】
女性	4,175 人 (-27) 【50】	転出	61人 【4】

※ () 内は前月比、【 】内は外国人数、右欄は今月中の異動 ※外国人の数を含む

戸籍の窓辺 出生・婚姻・おくりやみ

お誕生おめでとう

地区	氏名	性別	保護者
柳三	松下 怜生 <small>まつした れお</small>	男	芳樹
水川	梶原 理音 <small>かじわら りお</small>	女	孝亮
下泉	前田 来音 <small>まえだ りのん</small>	女	善啓

♡ご結婚おめでとう♡

地区	氏名	前住所
寺馬	齊藤 亮太 中内 綾香	寺馬 石川県
下長尾	松井 岳宏 藤田 智子	下長尾 久野脇

おくりやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
小長井西	池下 いよ	100	晶也
小長井西	松下 俊夫	76	雅光
前山	大石 芳一	84	照子
田代	山田 泰照	81	典秀
藤川	秋元 寿介	45	一夫
藤川	小澤 藤男	82	節子
藤川	落合 清志	76	了典
藤川	岸上 久吉	84	良枝
水川	木村 茂夫	90	利夫
水川	佐藤オユキ	80	洋子
高郷	大森 育郎	87	裕
梅高	高木 昭	73	清子
地名	諸田すみ子	89	正美
地名	椎野 清	73	登
田野口	鈴木 和枝	76	勉
田野口	田畑 長市	90	義次
徳山	森岡 康二	87	敬
徳山	坂下代利子	72	信良
徳山	直里 勇二	89	哲次

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。

■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けたのみ掲載しています。
生活健康課 ☎ (56) 2222

family registration

富士山静岡空港開港3周年記念イベント ソラノワあおぞらマーケット

ソラノワ実行委員会事務局



写真はイメージです

富士山静岡空港から広がる人の輪・まちの輪・文化の輪。特産品や自慢の逸品が富士山静岡空港に大集合！空の輪／和を合い言葉につなごう。

日時 6月3日(日) 午前10時～午後2時
場所 富士山静岡空港西側展望広場駐車場(天候によって中止する場合あり)

【問】ソラノワ実行委員会事務局
☎0547 (30) 0360

軽自動車除く自動車 自動車税納付忘れず

県藤枝財務事務所

自動車税は5月31日(木)までに納めましょう。自動車税は毎年4月1日現在、運輸支局に登録されている自動車の所有者（ローンで購入した自動車でも主が所有権を留保しているものは買い主である使用者）に対して課税されます。なお5月20日までに自動車税納税通知書が届かない人（軽自動車は除く）は次までご連絡ください。

5月31日(木)まではコンビニ納付もできますので、ご利用ください。

【問】県藤枝財務事務所課税第1課自動車税班 ☎054 (644) 9122

海を舞台に自立心や協調 性育てる焼津青少年の家

県立焼津青少年の家

①未来に向かってこぎ出そう

大自然の中でカヌー漕艇や海釣りな

どを家族一緒に体験し、家族のきずなを深めます。ご家族揃ってご参加ください。

実施日 6月9日(土)、10日(日)

(1泊2日で実施します)

場所 焼津青少年の家、小川港周辺

定員 17家族(約60人)

費用 小学生以上：3,900円

3歳～未就学児：2,900円

3歳未満：1,300円

申込方法 5月22日(木)午後5時までに、下記問い合わせ先まで電話で申し込んでください。定員を超えた場合は抽選となります。

②チャレンジスクール2012夏

自然と触れる活動を通して、自然への畏敬の念、親しむ心をはぐくみ、子どもの自立心や協調性、責任感を育てます。

プレ 7月22日(日)(保護者同伴・日帰り)

メイン 8月4日(土)～9日(木)(5泊6日)

場所 焼津青少年の家

定員 70人(小学5、6年、中学1年)

費用 18,000円

申込方法 5月25日(金)までに所定の申込書を郵送。申込書は下記問い合わせ先まで請求してください。定員を超えた場合は抽選となります。

③やいづ体験の家

カヌーの乗船体験をしたり、黒はんぺんを作ったり、普段出来ないような体験をしてみよう。思い出の宝をつくりませんか。

第1回 6月2日(土)

第2回 6月3日(日)

開始時間 午前9時30分(受付9時)

終了時間 午後1時(昼食後解散)

場所 焼津青少年の家

定員 定員70人(3歳以上、小学4年生以下保護者同伴)

費用 900円(保険料240円、昼食代550円、飲み物110円)

迅速 丁寧に
お茶の仕上げ加工袋詰めいたします

茶新坂本園

川根本町上岸110 ☎ 0547-59-2155

墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎・FAX 0547-56-1177
http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177

川根の子は、川根高校で育てる

初めまして。河原崎前校長の後任として、本年度4月に着任いたしました校長の堀田です。よろしくお願ひいたします。

私がこの4月に、初めて川根高校の校門をくぐった時、太鼓の音、野球部の声、テニスボールを打つ音、吹奏楽部の楽器の音など、生徒の活気に満ちた活動が、様々な音として伝わってきました。そして、他の部活動もそれぞれの活動場所で大張りつめている姿を思い浮かべました。元気のある生徒、活気のある学校、それは、先生方が日々、一生懸命生徒の指導にあたってくれていること、また、地域の方々から温かい御支援をいただいているためであり、関係する皆様に感謝するとともに、これから出会う素晴らしい生徒と先生に負けないよう、私自身が努力しなければと思いました。

これまで、地元の方々の熱い御支援と御協力により、教育活動や施設設備が充実し、素晴らしい多くの生徒を輩出することができましたことに、改めて感謝申し上げます。

その川根高校が目指す学校像を次の2点と考えます。

- ・川根地域を担う有為な人材を育成する
- ・川根地域のさまざまな生徒の多様な進路希望を実現する

これらは、まず、校訓「自省」「創造」「果敢」の精神をもとに、勉強や部活動などを一生懸命に取り組み、自分の個性を磨き、自分の夢を実現するため全力で努力をする生徒をイメージしています。そして、高校卒業後は地元就職して、地域の核となつて町づくりに貢献してくれる人、大学等への進学後、専門的な知識・技能を身につけて地元で活躍する人、国内はもとより国際社会で活躍・貢献する人などに成長してくれることを願っています。

「川根の子は、川根高校で育てる」を

川根高校校長 堀田英正

合言葉に、チーム川根高校は今年も一丸となつて頑張りますので、更なる御支援と御協力をお願い申し上げます。



4月から着任した堀田英正校長先生

●平成23年度卒業生66人の進路先

4年制大学	18人(国公立4)
短期大学	7人(公立4)
専門学校	16人
就職	24人(公務員1)
その他	1人

※国公立4年制大学の合格者は6人

【つぶやき】うん、他地区の学校に行かなくても、川根高校で十分進路実現できるね。

●平成24年度生徒数

全校生徒	189人
1年生	52人
2年生	76人
3年生	61人

【つぶやき】今年は1年生が少なかったけど、来年はきっと多くの生徒が入学してくるよ。

column



鹿角霊芝エキスドリンク「スーパー宝輪」

健康維持に関わりがあるとされている「β-グルカン」たっぷりドリンク!

鹿角霊芝で始めよう!健康生活習慣

～100歳まで元気でキレイに楽しく生きよう～

クレス薬品株式会社

〒510-0837 三重県四日市市西松本町10-32
TEL.059-350-2468 FAX.059-352-8785
www.cress-yakuhin.co.jp



4月から広報かわねほんちょうの担当となりました大村一成です。よろしくお祈いします！

昨年は人事交流職員として静岡県庁で1年間、情報公開に携わるとともに、外からわが町を見つめてきました。県での仕事で一番心がけたこと。それは「逃げない」こと。4月1日から鳴りまくる電話。異動してきたばかりなのでわかりませんが、という言葉は言えない。言いたくない。勉強に明け暮れた日々…。

ある同期の交流職員も想いは同じで「白旗は挙げたくない」との言葉。その言葉が1年間の原動力となり、最後には自信を持って仕事に取り組みました。今でもその言葉が心の中にあります。

そして、外から見ること気づいた、川根本町の良いトコロと悪いトコロ。町の魅力って、らしさって何だろう？この町に生きる人々の営みであったり、それを支える人たちにスポットを当てていきたい。この町を創っているのは、この町に住む人なのだから。

たくさんの声を聞かせてください。それを伝えることが1年間のわたしの仕事です。

大村一成



鈴木愛莉彩
ちゃん

父：貴好・母：由理子
ありさ、1歳のおたんじょうびおめでとう!!泣き虫で甘えん坊でいたずら好きだけど、そんなありさのパワーがみんな大好きだよ♡これからも大好きなねえねのあとにくっついて、2人仲良く元気に大きくなーれ!!

H 23・4・14 生 地名



根附誠真
くん

父：洋充・母：清香
誠真、1歳おめでとう！大きな声でお話したり、音楽に合わせて体を揺らしたり、大忙しな毎日だね。食いしん坊で、やんちゃな誠真。たくさん食べて、たくさん遊んで、すくすく大きくなってね。

H 23・4・16 生 小長井



長谷川芽美
ちゃん

父：直紀・母：絵美
めいちゃん1歳のお誕生日おめでとう♡にーが大好きでいつも一緒になって、いたずらばかり。でも、めいちゃん笑顔に癒されてるよ。これからも笑顔いっぱい、元気いっぱい、優しい女の子になってネ♪

H 23・4・4 生 徳山



菌田莉瑠
ちゃん

父：雄太・母：実華
莉瑠ちゃん、お誕生日おめでとう☆いつもニコニコして、笑顔いっぱいの莉瑠ちゃん。家族みんな莉瑠ちゃんが大好きだよ！これからも元気に大きく育ててね。

H 23・4・20 生 上長尾

みんなの笑顔が、まちを元気にするよ😊

Birthday

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。

ご予約は電話にてお願いします。

(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9

島田駅から徒歩1分

☎0547-37-0431

診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時
(休診日：水曜日、日曜日、祝日)



this month
HighLight
4
今月の注目

災害に強いまちづくりを目指して

本町消防団が平成24年度 入退団式を挙行 4月1日

前日の激しい風と雨。「雨ニモマケズ」桜が咲く中、252人の団員が集い、本年度の消防団入退団式が挙行されました。東日本大震災から1年が経ち、防災体制を再確認しました。

退団者に感謝の意を 入団者に今後の期待を

退団者27人と入団者13人を紹介

退団者：高田智祥、諸田孝行、坂本喜弘、波多野忠志、小澤昌司、西條徹也、上山滋、井澤方伸、森永祐司、大形厚三、中村浩、笹木敦、和田靖仁、大久保英次、田畑剛、小川正喜、梶原正威、高畑直人、酒井智、藤森和彦、松井伸幸、水口康弘、西澤伸浩、山本光彦、桑原史典、遠藤啓史、向島秀敏 27人

新入団員：第2分団▶長嶋洋司、殿岡俊輔、坂本皓平 **第3分団**▶坂本将平 **第4分団**▶横山慎一郎 **第5分団**▶中道輝久 **第6分団**▶土屋正成、中野裕介、藪田雄太、山本靖季、中村成裕 **第7分団**▶榊原翔太 **第8分団**▶太田洋平 13人

栗田新団長は「新入団員は団員減少する中、貴重な存在である。即戦力となるよう頑張ってもらいたい。町民に愛される団員になるよう期待する。」と述べました。

退団者の高田前団長らに感謝状を贈りました。

栗田新団長は「新入団員は団員減少する中、貴重な存在である。即戦力となるよう頑張ってもらいたい。町民に愛される団員になるよう期待する。」と述べました。

解説 ※東日本大震災後、初の予算編成となった平成24年度防災関連予算。静岡県全体では前年度比23.2%増の23.6億1354万円(3/10現在)。本町でも46%増の1億4933万円(確定)を計上している。

長年消防団活動に貢献された退団者に感謝を贈り、本年度から仲間に加わる新入団員を迎えるための「平成24年度本町消防団入退団式」が4月1日、本川根小学校体育館で挙行されました。

午前9時。来賓が見守る中で、山口輝久統括本部長の号令のもと、開始した入退団式。団員皆真剣で引き締まった表情で臨んでいました。

式典では、新団長に就任した栗田浩行団長が、新入団員の横山慎一郎さん(第4分団)に任命書を手渡しました。そして、退団者の高田前団長らに感謝状を贈りました。

東日本大震災の発生から1年あまり。全国で地域防災への期待が高まっています。本町消防団も「自助」の意識、「共助」の精神を再確認し、災害に対する危機感や備えを、気持ち新たにしました。

観閲者の佐藤公敏町長は「東日本大震災後、防災体制強化に力を入れています。平成24年度予算でも防災を重点項目の一つに挙げ編成しました。団員数が減少する中、団員確保が大きな課題となっており、定年延長のあり方も今後検討していきたい。地域の安心・安全を守るため、日夜尽力をお願いしたい。」と訓示しました。